ゆめクラブ大和

対話と笑顔で
明日を開こう

第81号

■ 令和４年７月25日発行 ■

発行：大和市シニアクラブ連合会
〒242-0004 大和市鶴間1丁目25番15号
(大和市役所第2分庁舎内)
☎046(260)5654(代)

編集・印刷　㈱博報社関東本社
神奈川県厚木市愛甲1-8-39
☎046(280)6001(代)

芦ノ湖観光海賊船に乗船、芦ノ湖遊覧と絶景・富士山観賞の旅

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

ごあいさつ

大和市シニアクラブ連合会　会長　菊池　信良

この度、令和四年度の総会において、ゆめクラブ大和（大和市シニアクラブ連合会）の会長職を拝命いたしました菊池（第四ブロック、せぴあの会）でございます。任の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。

就任にあたり私とシニアクラブ活動との係りについて少しお話しいたします。会社を定年退職後65才の時（平成22年）にせぴあの会を立ち上げました。世帯数137戸同年代の住人が多い地域です。仕事をリタイアした後、家で過ごす時間が多くなり廻りとの絆を深めたいと発起人となり34名うち男性21名女性13名が集まって会の名前を「せぴあの会」として発足し、ゆめクラブ大和に入会致しました。せぴあ色とは独特の落ち着きと、どこか懐かしさを感じる色、モノクロ写真が年代を経て茶色に変色して現れます。名前を募集した時に会員の方から出てきた名前です。

令和二年新型コロナウィルス感染拡大に伴う諸事情によりゆめクラブ大和も色々な行事が中止になり以前と同じ活動は出来ておりませんでした。昨年度位から色々と工夫をして旅行も日帰り旅行にしたり集会も人数制限をしたり形を変えて少しづつではありますが前向きに活動しております。

現在ゆめクラブ大和には様々な課題があります。課題はありますがゆめクラブ大和のモットーは「明るく、楽しく、元気よく」ですからそのモットーを実感できるよう、誰でも参加できる、楽しく参加できる、気軽に参加できる事を目標に会長として微力ながら、役員、常任理事の皆さんと一緒になって知恵を出し各クラブの会長様と実行していきたいと思います。そしてゆめクラブに入っていて良かったと言って頂けるような会を作って行きたいと思っています。

会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げまして、会長就任の挨拶とさせて頂きます。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

令和４年度 表彰式典および総会開催

５月12日㈭午後２時より、シリウス１階サブホールにて、ゆめクラブ大和表彰式典および総会が開催されました。

第１部の表彰式典では、功労表彰として３名、一般表彰として35名、クラブ表彰として１クラブが表彰され、感謝状が３名に贈られました。

第２部の総会では、令和３年度事業報告、一般会計収入支出決算、友愛チーム特別会計収入支出決算、福祉募金特別会計収入支出決算についての報告および会計監査報告が承認されました。

続いて、役員選任および連合会規約の一部改正についての議案が出され、令和４年度事業計画案、一般会計収入支出予算案、友愛チーム特別会計収入支出予算案、福祉募金特別会計収入支出予算案についての議案がすべて承認され、閉会となりました。

令和４年度 大和市シニアクラブ連合会役員名簿

【会長・副会長等】

役職名	クラブ名	会長名
会　　長	せぴあの会	菊池　信良
副 会 長	第二喜楽会	伴　　勝義
副 会 長	札の辻クラブ	角川　信雄
副 会 長	花みずきの会	熊谷　順子
会　　計	第三寿楽会	岡松　弘純
監　　事	中央四丁目豊友会	叶　　森統
監　　事	谷戸頭さくら会	前場　洋子
総務部長	冨士美会	石川　創一
副 部 長	粋生クラブ	菅原　正彦
副 部 長	中福田福好会	大滝　昌司
事業部長	第一つきみ野会	駒井　壽明
副 部 長	桜森クラブ	家所　良征
体育部長	柳和会	髙橋　洋一
副 部 長	中央林間西寿楽会	渡邉　　忠
女性部長	第一大鶴会	太田　恵子
副 部 長	山谷双葉会	天野　栄子
友愛チーム会長	花みずきの会	熊谷　順子
常務理事(事務局長)	市シニア連事務局	濱島　明生

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

春の親睦旅行

令和4年6月8日(水)

仲間と元気におしゃべりをし 足取りも軽く旅を楽しみました

今回のバス旅は、コロナ感染予防を重視して、移動距離が短い見学場所を絞り、余裕のある行程としました。

芦ノ湖の海賊船遊覧では、富士山は観ることはできませんでしたが「霧の芦ノ湖」風景は心に沁みました。

鎌倉殿の13人伊豆の国大河ドラマ館では、史実考証がこれまでになく緻密に研究された成果が盛り込まれていることを知り、次からの視聴意識が変わりそうです。

今回の目玉であるマスクメロン狩りで持ち帰ったメロンを、良い香りに毎日包まれながら一週間かけて熟成させました。美味しく頂きながら楽しかったバス旅を思い出し、改めて仲間と元気を分け合ったことに感謝し、良い思い出に浸ることができました。

事業部長　駒井　壽明

第21回グラウンド・ゴルフ大会

令和4年6月2日(木)

女子の部	クラブ名	氏　名
優　勝	第一寿壮クラブ	小川　朝子
準優勝	谷戸頭さくら会	小倉　律子
第３位	第二喜楽会	瀬沼せつ子
特別賞	長堀長和会	鬼頭えい子
	千本桜千寿会	斉藤　敦子

男子の部	クラブ名	氏　名
優　勝	札の辻クラブ	奥野　隆男
準優勝	林間喜楽会	福田　　誠
第３位	きずなクラブ	船橋　和助
特別賞	第2つきみ野会	吉村　史郎
	長堀長和会	池田　　孝
	冨士美会	富沢　　博
	草柳寿草会	中村　　勝
	草柳寿草会	星　　勇
	高砂会	持田　光雄

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

健 康 講 座

一人でもできる健康づくり

令和３年12月14日㈫　シリウス　サブホール

こんなに長くコロナ禍が続くとは思っていない私たち。まじめに家で過ごすほどに、体はフレイル（虚弱）化してしまいます。

これではいけないと、今回は、椅子に座って、一人でもできる体操を教えていただきました。

恒例となった鴨下禎子先生による健康体操です。人数制限があり、間を空けて座ったので、腕が動かしやすい体勢です。

さあ!!

肩甲骨を動かしましょう!

胸を張って!

音楽に合わせてー!

元気な先生の声かけに、マスクをつけながらも楽しく体を動かすことができました。おなじみのハッピー体操の曲や、朝ドラのテーマ曲に合わせて知らずしらず体が動いていきます。

今回は「カムカムエヴリバディ」、♫君とわたーしは、仲良くなれるかな…で始まる"アルデバラン"。

どんな曲でも絶妙な体操に仕上げてしまう鴨下先生です。

初参加の方も、とても楽しかったと喜んでくださいました。まさに、心も体もリフレッシュできた"健康講座"となりました。

お力添えをいただいた「カモの会」の皆さま、ご参加の皆さま、本当にありがとうございました。

（女性部長　太田　恵子）

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

いよいよ今年です!

県老連・地域活動推進委員　太田　恵子

昨年来お知らせしていました、**“ねんりんピックかながわ2022”**が、いよいよ**本年11月**に開催されます。

期　間　令和４年11月12日～15日　　**会　場**　横浜を中心とした県内各所

テーマ　「神奈川に　咲かせ長寿の　いい笑顔」～未病改善でスマイル100歳～

スポーツ、福祉、生きがいなどのイベントがある中で、県内市町村老連が企画・運営するのは「地域文化伝承館」という部門です。展示とステージ出演があります。

展　示　11月12日～14日
横浜産貿ホール１F
・県内各地の活動紹介、実演、体験交流

ステージ出演　11月13日のみ
県民ホール（小ホール）

展示には“友愛活動”のブースもあるので、これからのヒントを見い出せそうです。
そしてステージでは、大和代表、“新町むつみ会”の「鶴間新町ノーエ節」が披露されます。
応援、よろしくお願いいたします。

ねんりんピックのメインはスポーツです。県内各地でゴルフ、マラソン、剣道などを、60歳以上の強者（つわもの）が全国から来て競います。また、スポーツ交流大会として、サッカー、サーフィン、水泳などでふれあいの場が設けられています。ちなみに、大和市では11月13日スポーツセンターにて太極拳の大会がおこなわれます。楽しみですね。

文化交流大会には俳句や健康マージャンなどもあります。

いろいろ見たいけれど我が身はひとつ。体調と相談して参加していきましょう。

くわしいことは７月末発行の“ゆめジャーナル”をご覧ください。

34回目の今年の大会、大成功を祈ります。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

クラブ紹介

友愛チームの活動
花みずきウオーキングマップ作成、健康づくりはお出かけから
～1日2，000歩頑張りましょう！

花みずきの会　熊谷　順子

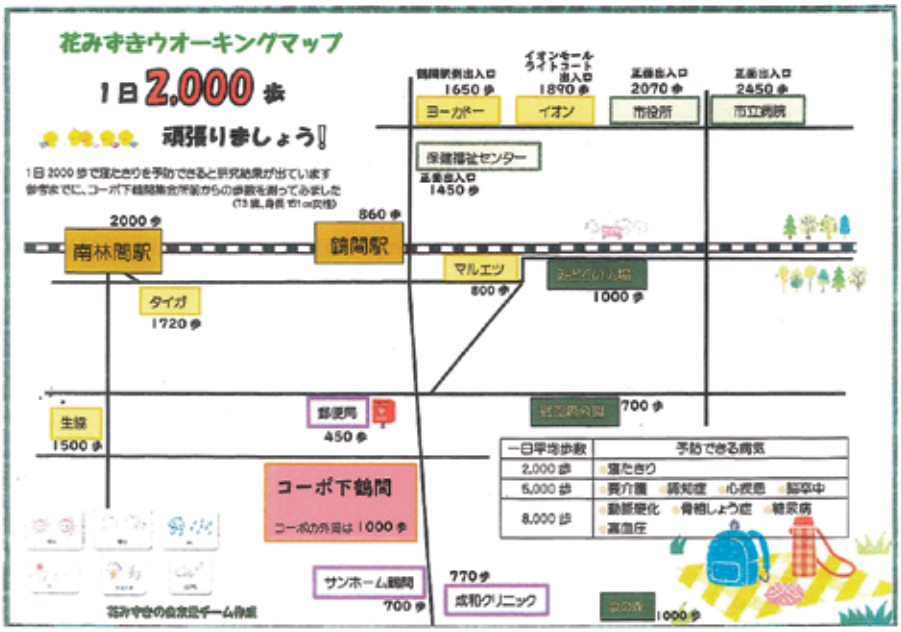
歩くことは、誰もが気軽にできる健康づくりと考えられています。

大和市では歩く健康づくりを推進しており平成29年度第1回ウオーキンピックがスタートしました。私たちの市シニアクラブ連合会でも新型コロナ禍で運動や外出の機会が減っていることから、歩くことを習慣化し「健康づくり」につなげようと、令和2年度から、ゆめクラブ大和ウォーキング事業をスタート、多くの仲間の参加がありました。花みずきの会員も参加しています。

ところで、花みずきの会友愛チームの日々の活動で分かったことは、ちょっと健脚でない人や運動好きでない人、杖や歩行器を使用している人が増えていることでした。

「花みずきウオーキングマップ」（1日2，000歩頑張りましょう！）は、いろいろな事情で、外にでる機会が減っている人でも、一日2，000歩なら目標にしやすく、そして歩いた効果が病気予防に関係するなら意欲もでてくるのではと考えこの3月に作成しました。作成にあたって市のウオーキングサインを参考にし、日々歩く実践をしている友愛チームメンバーが団地集会所を基点に歩数計とメモ帳を片手に目標地点一つひとつチェックして作りました。マップの活用が高齢者自身意識的に外出する手段となり、私たちの地域が「高齢者銀座通り」といわれるようにたくさんの人が行き交うことになったらと夢を描いています。季節の風を感じて歩いてみませんか！

※下の表は「1日あたりの歩数と病気予防のめやす」中之条研究（東京都健康長寿医療センター研究所青柳幸利さん）による



私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

担い手養成研修事業の主な活動を紹介します

◆担い手（高齢者当事者）研修

1．助け合いボランティア講座

「私たちにできること・・・私たちだからできること」

講師　大和市社会福祉協議会　ボランティア振興課　佐川博之氏

2．認知症講座　「大和市の終活事業について」

講師　大和市健康福祉部　おひとりさま政策課　五ノ井博之氏

その他ビデオ研修として「認知症を正しく理解」、「終活について考える」等を実施。

3．ネットワーク研修

「南林間地区たすけあいセンター　施設研修」

「サンホーム鶴間　サービス付き高齢者向け住宅　施設研修」

◆みんなの居場所（いろどり）

手芸・小物作りをテーマに誰もが集う場　毎月開催

◆暮らしのよろず相談

一人暮らしや高齢世帯の生活支援・買い物困難者の野菜販売　声かけ

毎週火曜日平成28年から実施

◆パソコン・スマホ教室

ICTを活用した助け合い・つながりづくり　毎月２回開催

令和４年２月には、ゆめクラブ神奈川の「令和３年度担い手養成研修シンポジウム」でモデル事業の事例報告として「ICTを活用した助け合い・つながりづくり」（https://youtu.be/d3dcsNh9alo）をオンライン発表致しました。

（注記）

ICT「Information and Communication Technology（情報通信技術）」

ボランティア講座

南林間地区たすけあいセンター施設研修

みんなの居場所（いろどり）手芸・小物作り

買い物困難者の野菜販売

パソコン・スマホ教室

「元気人」紹介

千本桜千寿会　坂口　芳巳

今回紹介する「元気人」は、千本桜千寿会会員の斎藤敦子さん（95歳）です。斎藤さんは、地域の病院で看護師として勤務され、退職後はいち早く入会されました。１年後には早くも県高齢者体育会が認定する「健康づくり体操指導者」の資格を取得し、クラブ活動「体操部」の指導員として30年近く活躍され、今日に至っています。その間、大勢の仲間達にリズム体操やフォークダンスの楽しさと健康づくりの大切さを広められました。お陰様で、体育祭や演芸大会などに参加するため活動が活発になり、喜びや感動を体験する機会も増えました。今なお向上心が強く新しい踊りを習い、私たちに教えられる姿勢には感服いたしました。

また、友愛活動にも早くから取り組まれました。特に、サロン開館中に友愛チームが実施した「歌と踊りで健康づくり」の体操でリーダーシップを発揮して近隣の人たちとの楽しい交流の場を作られました。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

地域支援事業
担い手養成研修事業に参加して

花みずきの会　棟長　壽雄

神奈川県老人クラブ連合会の地域支援事業　担い手養成研修事業は、高齢者が地域の担い手として活躍するために必要な知識、技能を習得するとともに、高齢者の社会参加への動機づけ普及啓発をはかるための養成研修を実施することを目的とする事業です。

私達「花みずきの会」は、高齢化が進む中「高齢者が安心して暮らせるコミュニティを目指して」活動するコーポ下鶴間自治会のシニアクラブです。コロナ禍の中、引きこもりがちな高齢者の社会参加、地域の助け合い、支え合いを担う者として必要な知識と技能を習得するために、令和３年度担い手養成研修事業を実施し、講師を招いての研修や福祉施設研修を通じて地域の担い手として学習してきました。

活動を通じてコロナ禍の中でも必要な対策を講じれば地域のコミュニティを維持していけることや、屋外で十分なソーシャルディスタンスを取ってのラジオ体操など新たな活動につなげることが出来ました。又、パソコン・スマホ教室「ICTを活用した助け合い・つながりづくり」では、新型コロナワクチン予約のネット申請が始まりネットに不慣れな人が取り残され、電話予約で何度かけてもつながらないなどIT機器を使えるかどうかで受けられるサービスに差が付くことになったり、デジタル庁の接種証明アプリやマイナポイントなど行政手続きにスマホやPCなどを日常生活でうまく活用していくことがますます必要になってきました。パソコン・スマホ教室ではお互いに教え合うことによる助け合いや共通の話題によるつながりづくりの場となっています。

ラジオ体操

花みずきの会の概要

所在地　神奈川県大和市西鶴間２丁目26番コーポ下鶴間
神奈川県住宅供給公社の５階建て８棟245世帯からなる分譲住宅
今年で入居（昭和53年）から44年になり高齢化が進む

会員数　73名（令和４年１月現在）男　35名　　女　38名
平均年齢　77歳

斎藤敦子さん

最近はコロナ感染症予防で比較的安全に活動できるグラウンド・ゴルフを楽しまれています。設立当初からのメンバーで、現在も各種の大会に参加されるのには驚きです。練習には休まず参加され、クラブの試合では常に上位の成績ですからご立派です。また、プレー中のマナーも守られ、打順を間違えたり、スコアーを間違えたりすると指摘を受けることがありますから頭も体も若々しい限りです。

普段の何気ない会話の中で「元気の源は？」「楽しみは？」と伺ってみると、いつもニコニコしながら、「皆さんが『こんなおばあちゃん』でも楽しく遊んでいただけるから参加するのが楽しいよ」と明るく答えられます。本当に素敵な方です。いつまでも、お元気で趣味の体操・好きなゴルフを楽しまれるお姿を拝見したいと心より思っています。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

会員投稿

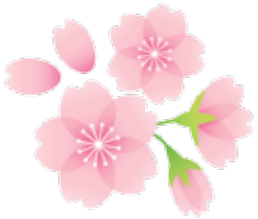
今年のお花見

若草クラブ　西村ふみ子

今年は桜の開花が早く、引地台公園でも3月中旬には満開となりました。

このところ大和たちばな苑でも4月の初め頃皆で連れだって、お花見のドライブをしました。

施設長の運転する大きな車で、恩田川、千本桜、若葉台を巡りました。両側の桜のトンネルに歓声が上り、スマホでパチパチとシャッターを切りました。沿道の景色も珍しく、僅か1時間強のドライブでしたが、皆さん楽しんでいました。毎年このようなお花見ができればいいなと思います。



東北の心

宮久保クラブ　科内　章平

7年前この大和の地に引越してから半年が過ぎた時、ある新聞の記事で東日本大震災の伝承館がオープンしたことを読んだ。春先で寒かったが思いきって東北仙台へ向った。

さほど大きくない建物であったが、当時の様子が様々に展示されていた。その中に、一人の婦人の証言がビデオに流れていた。その内容は、私にとってとても感銘を受ける事柄であった。それは、若い頃御主人と営んでいた事業が失敗し多額の負債が残った。それをようやく返済し終えた時にこの震災に襲われ家を流され、友人知人肉親を失い失意のどん底に。しかし、この婦人はそんな逆境の中でも生きる希望の光を見い出していた。津波が押し寄せた時、たまたま家にいた孫に負ぶさって生き延びることができたこと。その孫は人生につまづいて長い間家に引きこもっていたが、この震災で家を流されたため引きこもる家がなくなり、今では理容師として社会の一線で活躍していること。そして、長い間内陸部に所有していた土地がこの機会に利用されることとなったため、経済的になんの不自由もなくなったこと。

東北地方は特に自然環境の厳しい地域のため生活するには大変だと思う。それ故に、隣近所で助け合うことは当り前の文化。都会での便利な生活に慣れた私達が忘れてしまった、人と人との繋がりの大切さをもう一度このコロナ禍で見直すことが大事ではと思う。何もできなくなってしまったと嘆くのではなく、何かほんの少しでもできることを探し、あの東北の婦人のように生きる希望を自分で作っていくことではないだろうか。

仙台からの帰路、幼子を連れた若い母親と席が隣り合わせになった。青森の実家からの帰りだという。その少女の笑顔に癒され、友人も知人もいないこの大和の地で、私も頑張って生きていこうと心に期した。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

私の健康方法

札の辻クラブ　角川　信雄

私は毎朝5時ちょっと過ぎに目が覚めます。幾等(いくら)遅く寝ても、目覚める時間は余りずれません。習慣とは面白いものです。

目が覚めると寝床の中で10分程、ストレッチをしてから起き、散歩に出かけます。

家を出てまず向かうのは家庭菜園、どんな状態かを確認して、今日の作業を考えながら向かう先は渋谷1号公園、健康遊具が備わっている公園です。6時10分頃に着き、遊具を使い体操をします。特に腰痛対策のぶら下りが本命で、1分程腰を伸ばしてます。背筋が伸び、とても気持ちが良いです。

更に札の辻2号公園に移動、クラブメンバーや近所の人達と、朝のラジオ体操。小学生の夏休みを思い出しながら健康ポイントを貰うのが楽しみです。幾人もの方が賞品をゲットしてます。体操を終えて帰宅すれば6時45分過ぎです。歩数計の表示を見ると4500歩程を示しております。7時頃に朝食、運動後の食事は美味しい。

食後に新聞のコラムを読みながら、脳トレを兼ね書き写しをしてますが、眠気が襲ってきて、約30分程朝寝をしてしまいます。

9時半頃から菜園か花の手入れに出かけます。自宅近くに檜林があり、道路側を勝手に花壇にしてしまいました。年間通して、花が見られる様に心掛けて、手入れをしています。

そもそも手入れを始めたのは、34年前に今の所に移り住んだ事がきっかけ。その頃は檜林の道路側は雑草が生い茂り、ゴミ捨場の様な状態で、朝の通勤に雑草とゴミを見ながら歩くのには耐えられずに、時間を作りゴミ拾いや雑草処理をし始めたのが、30年前の事です。一向に止まないポイ捨て。『ゴミはゴミを呼ぶ』、綺麗な場所にと思い雑草を抜き、花壇を作り、花を植える事にしたのです。少しずつ花壇を増やし、現在道路脇はほぼ花が植えられ、ポイ捨てゴミも見かけ無くなりました。花の手入れをしている時、通りがかりの人が「ご苦労様」「綺麗に咲いてますね」と声を掛けて貰える事が励みの源になり、小生の健康維持の特効薬になってます。

綺麗にしたいと始めたゴミ拾いが、今は健康維持を兼ねた花の手入れになりました。体を動かし、汗をかく事が一番の健康方法、体が動かせる内は花の手入れを続けるつもりです。自分の健康維持の為に。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

赤ちゃんの泣き声

第一大鶴会　渡辺　勲

ある日突然、隣の家から赤ちゃんの泣き声が聞こえてきた。たしか隣の斉藤さんの家は一人息子の幸太郎君が独立して、御主人だけの暮らしのはずだったのに、昨日から赤ちゃんの泣き声がするので驚いてしまった。

数日たってわかったことなのだが、幸太郎君がお嫁さんと赤ちゃんを連れて実家に戻ってきたらしいのだ。

幸太郎君のお嫁さんは、私の妻からの情報では2人目の子どもを身籠っていて、現在6ヶ月目とのことだった。出産をひかえて、赤ちゃんを含めた3人で、実家に戻ったようである。

このことで我が家の周辺の居住者の平均年齢が急激に下がり若返ったのである。

私の子ども2人もそれぞれすでに独立して、私達と違う場所に住居を構え生活しており、孫達4人も成長して今や高校生や大学生となり、私達夫婦はもう永いこと2人だけの暮らしなのである。

私達夫婦が16年前に横浜からこの大和市に転居してきた頃は、隣近所の家々の子ども達はまだ幼かったのに、その子ども達も今ではみんな高校生や社会人となってしまい、赤ちゃんの泣き声を聞くのは久し振りで、なんか懐かしく、また嬉しくもあった。

赤ちゃんの泣き声は時にはうるさく感じることもあるが、コロナ禍の時世で自粛、自粛で気持ちがうっせきしている昨今、赤ちゃんの泣き声を聞くとなんとなく心がなごみ、幸せな気分になる。

赤ちゃんは希望の星であり、赤ちゃんの泣き声は天使の声でもあるのだ。

愛と勇気飛躍する時

第二喜楽会　瀬沼せつ子

毎日大きな変化の中、常に自分らしくある為に大切な脳の働きを維持する、脳機能の潜在力100歳になっても成長し高めていける事実があるという。脳の働きがあれば景色も変る、喜びを楽しむ事ができる、前向きな気持で毎日の暮らしに楽しみを見つけながら前進でき、心穏やかに過ごすことが大切だと思う。歳を積み重ね新たな目標を定めて追い込み終りにしない事。寂しいとか、つまらないと感じるよりも工夫を考え、小さな事でもチャレンジして始めよう。経験を積み重ねる事で視野も広がる。何よりも人の人格は買えない。何かをする場合は、正当化しなければならない。誰よりも努力して国民は勤勉に働き、いつの間にか高度経済成長し、そんな時に家事の重労働から解放され昔を思い出しながら楽しかった時間を追体験して思い出に心温まる自分をほめる。その気持が苦境にも強くなり脳を育てる、新しい事ばかりでなく古い事も大切にして様々な記憶が呼び起こされる。三日坊主でもその気持が大切で毎日の新しい刺激になり、活発に働き元気になる。どんな変化にも積極的に気持を切り変えて努力して何かに力を出し達成した時の笑顔は輝いている。まだ先がある事に、注目して何事にも情熱を持ち、未来が待っている前に進み歳を積み重ね成長したい。新しい達成感が生れますように。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

『プラスチック資源循環促進法』

中央四丁目豊友会　　森野　熊蔵

近年、地球規模の問題として大きく取り上げられている海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化問題、諸外国の廃棄物輸入規制などの幅広い課題に対応するため、2019年5月に「プラスチック資源循環戦略」が策定され、その基本原則として「3R＋Renewable」が掲げられました。

この「プラスチック資源循環戦略」の具体的取り組みとして2020年7月にレジ袋の有料化がスタートし、今年4月1日からは「プラスチック資源循環促進法」がスタートしました。

◆3R：Reduce（リデュース）＝ごみの発生を減らす
　　Reuse　（リユース）＝繰り返し使う
　　Recycle（リサイクル）
　　＝資源として再び利用する

◆Renewable（リニューアブル）
　　＝再生可能資源に替える

「プラスチック資源循環促進法」は、プラスチック製品の設計・製造、提供・販売並びに排出、回収及びリサイクルの各段階において、3R＋Renewableの原則に則り、「事業者」、「消費者」、「国」、「地方公共団体」等のすべての関係主体が相互に連携しながらプラスチック資源循環を促進させ、廃棄削減に向けて取り組むことを目的としています。

コンビニやスーパー、テイクアウトの時に無料で配られていた使い捨てのプラスチックスプーンやフォーク、マドラーなど12品目は有料化や代替素材への切り替え、軽量化などが事業者に義務化されます。

私たち消費者にはプラスチック製品の利用削減、分別の徹底などの取り組みが求められています。

《対象業種と対象製品（12品目）》

①コンビニ、スーパー、飲食店、テイクアウト・配達飲食業者など（5品目）
　フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー、ストロー

②ホテルなど（5品目）
　ヘアブラシ、くし、かみそり、
　シャワーキャップ、歯ブラシ

③クリーニングなど（2品目）
　衣類用ハンガー、衣類用カバー

《削減対策（提供の工夫）》

・有償で提供する
・特定プラスチック使用製品を使用しないように促し、不要とした場合ポイントを還元等する
・提供する特定プラスチック使用製品の必要か否かの確認をする
・繰り返しの使用を促す

この新法は、プラスチックを規制するための法律ではなく、資源として循環させる取り組みを促進させるための法律です。

本稿では、私たち消費者に係る部分のみをご紹介しました。設計・製造の取り組み、販売・提供時の取り組み、排出事業者の取り組み、回収・リサイクル時の取り組み、国、都道府県、市区町村の役割等々、詳細は環境省のサイトをご参照ください。

●環境省によるプラスチック資源循環の周知・広報のための特設サイト
　https://plastic-circulation.env.go.jp/
●環境省HP「プラスチック資源循環戦略」の策定について
　https://www.env.go.jp/press/106866.html
●環境省HP「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の政省令・告示について
　https://www.env.go.jp/council/03recycle/20210823_01.pdf

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

文芸のひろば

俳句

田圃道マスク外して深呼吸　桜友会　中町　富子
一年生背中で跳ねるランドセル　桜友会　小高つや子
野菜高野草を摘んで食卓へ　桜友会　大内　勝子
ボランティア上下の格差無い奉仕　桜友会　熊橋　芳美
「先帰る」伝言板や昭和の日　桜友会　宮﨑　文夫
ふる里は山とツツジとおふくろの味　桜友会　小嶋　勇夫
牡丹咲き我が家にやっと初夏が来た　桜友会　道明　忠子
敬老日人それぞれに余生あり　桜友会　高津　花枝
秋雨の残せし紅葉地に粘る　桜友会　奥村　允子
良き知らせ喜べぬ今日四月馬鹿　第一つきみ野会　加藤　滋
御神木更なる芽吹き仰ぎ見る　第一つきみ野会　大森　利憲

行かずとも孫のスマホで花見する　宮久保クラブ　科内　章平
寛ぎの読書に耽る喫茶店　南林間第一寿壮クラブ　泉　榮子
亡き友の削除ためらう受信メール　南林間第一寿壮クラブ　小川　朝子
日向ぼこしながら数える鉢の数　若草クラブ　西村ふみ子
花冷えの前のぬくさや鉢に水　若草クラブ　西村ふみ子
侵略に未だ春来ぬウクライナ　若草クラブ　鵜澤　靖
菜の花の群れを別け行く引地川　若草クラブ　吉田　祐三
わくわくと足取り軽い一年生　若草クラブ　吉田　祐三
草花を世話して今日も春思う　若草クラブ　岡村　實
切り株に坐して独りの花見かな　山王原上喜楽会　岩下　保
草もちの香りと共に友来たる　札の辻クラブ　畠山千代子
三年も流行り病に悩まされ　宿喜楽会　坂口　賢治
春うらら小さなママの砂料理　宿喜楽会　山梨　博文

山茶花は椿じゃ無いと花散らす　第一大鶴会　渡辺　勲

川柳

バリアフリー筋力退化助長する　桜友会　甲斐　忠幸
繰り上げのワクチンを打つ待つ不安　桜友会　道明　忠子
コロナ禍を避けて巣籠三年目　桜友会　田中　貞子
マスクして手には消毒集会所　桜友会　道明　和典
孫が言うもう忘れたよ爺の顔（コロナで一年も逢えない）　桜友会　小嶋　勇夫
ゴミひとつ置けばたちまちゴミ捨て場　桜友会　宮﨑　文夫
温暖化凍土も融けて熊暴れ　宮久保クラブ　科内　章平
苦吟して俳句練るのもボケ防止　南林間第一寿壮クラブ　折田　道夫
留守電にまた悲報かと早とちり　千本桜千寿会　坂口　芳巳
愛犬の命を抱いて鼓動聞く　千本桜千寿会　安部　典子

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

食前の薬多くて腹一杯　若草クラブ　岡村　實

通院の文字淋しげに予定欄　山王原上喜楽会　岩下　保

モスクワのプーさん近頃恐ロシア　宿喜楽会　坂口　賢治

素っぴんを見事に隠すマスクかな　第一大鶴会　渡辺　勲

臆病者うしろでワンワン吠えている
プーチンは追い詰められてプッチンし　中央四丁目豊友会　山崎　千秋

短歌

八十八生きた証を残そうと
綴る自分史記憶を辿る　桜友会　宮﨑　文夫

高齢化若手育成ままならず
福田囃子も跡絶え二年　桜友会　道明　和典

世の中で人は天からこの奇跡
命をもらい苦しみ耐えて　第二喜楽会　瀬沼せつ子

雑草の根にまとわり集う桜花
春の空にひときわ白く　第一寿楽会　高橋　敬介

年度末仕事の区切孫の世話
税金納めドタバタ走る　宮久保クラブ　科内　章平

菜園で胡瓜をもぎて丸かじり
これぞ老後のいやし場所　山王原上喜楽会　岩下　保

テカテカと泥のだんごの光るるを
競ひし遠き記憶の友は　宿喜楽会　山梨　博文

唐突に黒き雨雲流れ来て
鶴間二丁目のみに雨降る　第一大鶴会　渡辺　勲

詩

思い通りにならぬ事
自分を反省する機会
向上心の有る無しで
苦労は成長の糧
不満も何かを学ぶ　第二喜楽会　瀬沼せつ子

第80号掲載の
俳句
菜の花の畑で黄蝶は戯れる
川柳
マスク着け髭も剃らずに自治会へ
短歌
バラ園を巡り帰りし妻よりは
　仄かに花の移り香のあり
は第一大鶴会・渡辺勲様の作品でした。
訂正し、お詫び申し上げます。

編集後記

コロナウイルスも沈静化の兆しが見え、停滞していた活動も徐々に回復してきました。今年の後半には平常の生活が戻っていると良いですね。

本号発行に際し多くの会員の皆様よりご投稿いただきました。厚く御礼申し上げます。今後も皆様の生き生きとした様子が伝わる誌面作りを心がけていきたいと思います。

総務部長　石川　創一

原稿募集

次号「ゆめクラブ大和」82号に原稿をお寄せください。

★クラブ活動記、随想、旅の思い出、健康・介護に関することなど。俳句、短歌、川柳は一人各々一句または一首。

★文字数は800字（原稿用紙2枚）以内とし、写真を添付しても結構です。

★必ず、クラブ名、ご氏名を記載願います。

〈次号発行〉
2023年1月25日㈬

〈締切日〉
2022年10月21日㈮

〈応募方法〉
必ず各単位クラブの会長を通して市シニア連事務局へ提出願います。

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています

思い出アルバム

令和4年度　ゆめクラブ大和
春の親睦旅行≪日帰り旅行≫

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流･情報交換はもとより、地域の皆様にシニアクラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【大和市シニアクラブ連合会】

私たちはゆめクラブ大和の活動を応援しています